

スマイルゆい便り

管理者 古村久美子

今年はほんとに梅雨らしい梅雨ですね。ご家族の多い方は洗濯物などお困りでしょう。我が家の中もじめじめして、掃除が行き届かないものですから、居心地が悪い今日この頃です。

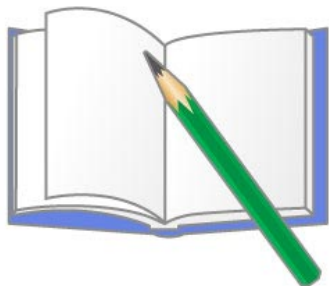
さて、私は先月二度程、県外に見聞に出かけ、気持を新たにすることができました。毎度お話している「共生の住まい」に関して出かけました。今までに2回、講師を招いて講演会を開催しましたが、その時の講師3人に再会する機会に恵まれました。7人の仲間が程良い距離で、何かの時には助け合う近居で暮らしている個個セブン(尼崎)で、村田幸子さん(元 NHK アナウンサー)・吉田一平さん(元ゴジカラ村代表・現長久手市長)とお話ことができました。いくつになっても前向きにいろんなことにトライする壮年の皆さんです。行政職は誰に向けて仕事をするべきか、市民は主体性をもって行動しなければならないと思いました。名古屋のゴジカラ村を經由して東京では狩野三枝(コレクティブハウジング社)さんと再会。共生の住まいづくりの具体的スケジュールを教えてくださいました。



そして2度目は京都に出向き、北海道から里帰り講演に帰省されている岩見太市さん(シーズネット理事長)にお会いしました。闘病されながら活動をされており、人との関わりが生きる術になっているとの身を以てのお話でした。私は介護保険だけに頼らない、自立と共生を具えた高齢者であるべきだ考えています。京都観光もしましたが、新緑爽やかな、人の少ない清水寺などを散策しました。100%満足の旅でした。

「介護支援専門員(ケアマネジャー)の資質向上と今後のあり方に関する検討会」に注目!

「ケアマネ不要論!?!」と言った衝撃的な見出しで語られているケアマネ検討会ですが、ケアマネジャーの養成カリキュラム、研修体系のあり方、試験や資格のあり方などの事項を主に、幅広くケアマネジメント全体に対しても議論されています。国家資格にするためには大学で専門的に学び1年実習をして資格を取得するべきといった意見、基礎資格の見直しなどどれも興味深い内容となっています。



検討会は概ね月1回のペースで開催され、今秋をめどに中間的な議論が取りまとめられる予定となっています。次期(2015年)改定を見据え、秋ごろには介護支援専門員の今後の方向性が決まることとなりますので、議論の行方に注目です。





国が描く「施設から在宅へ」という流れのなかで、重度者の在宅療養も増加が見込まれるため、入退院の際の医療と在宅の連携に、より重きを置く加算となった。



H23 年度末まで

《入院時情報連携加算》

H24 年度より

医療連携加算
150 単位/月

(I)(II)に区分

入院時情報連携加算(I)200 単位/月:病院等を直接訪問
入院時情報提供加算(II)100 単位/月:FAX など訪問以外の方法

* 情報伝達の方法に着目し、直接訪問をより高く評価するなど、単なる情報提供ではない、医療と介護の双方向のコミュニケーションを望んでいることがわかる。

H23 年度末まで

《退院・退所加算》

H24 年度より

退院・退所加算 (I) 400 単位/月

退院・退所加算 (II) 600 単位/月

(I)と(II)を一本

退院・退所加算 300 単位/回
*3 回まで算定可能

* 入院の長短ではなく、連携した頻度に着目している。
医療側にも加算が生じ、連携を取りやすい体制となった。

緊急時等在宅カンファレンス加算が新設されるなど
医療と介護のさらなる連携を促している。

スマイルゆいは、これまで以上に
医療連携に力を入れて頑張りますので、
よろしくお願いします。

エノキのパワーにガッテン!!



NHK の「ためしてガッテン」で氷エノキが紹介されて以降、当事業所ではエノキがブームになっています。紹介された効果としては、エノキに含まれるキノコキトサンが脂質と結合し食物繊維と共に排出するため、痩せる・コレステロールなどが下がるというものでした。エノキを煮詰めたものを冷凍保存し、何にでも入れれば簡単に摂取できるというのが氷エノキです。

なかなか続かないのよね、という方にも、冷凍保存ができる手軽さとエノキ価格の安さが長く習慣つける秘訣。ぜひお試しください。

平成 24 年 6 月 12 日大分市より介護給付適正化に係る訪問指導を受けました。特に違反事項等はありませんでしたが、事業所の業務全般を改めて深く見直すよい機会となりました。今後とも、ご利用者様のためのより良いプランと法令遵守を肝に銘じ、さらに精進いたします。スマイルゆい